

地域のできごと

R2.10

マイスター協会上高井支部、女性のための農業機械研修開催！

8月28日（火）に、農村生活マイスター協会上高井支部では、JAながの小布施ライスセンターにおいて「女性のための農業機械研修」を開催しました。日頃から機械作業をこなしている会員が多いのですが、より安全に、そして自分や家族が事故を起こすことがないように、守るべきポイントを改めて学びたいとの希望から、農作業安全月間である9月に先立ち開催されました。20人の会員が出席しました。

当日は、ライスセンター駐車場にSS、乗用草刈り機、刈り払い機、乗用トラクタが運び込まれ、JAながの日野機械センターの職員、機械メーカーの担当者6人が講師を努めました。SSは実際に始動したり、カバーを開けて内部の構造を確認して説明を聞きました。また乗用草刈り機の運転もしましたが、会員から危険な経験の話も出ました。大半が果樹専業農家ですが、大規模水稻経営の会員もおり、乗用トラクタについても熱心に学習する姿がみられました。

コロナ感染防止対策としてマスク着用、そして2班に分かれ、1つの機械につき30分程度の講義となりました。当日は酷暑であったにもかかわらず、質問が尽きず、大幅に予定の時間を超過し会員の関心の高さが伺われました。「これを機に機械に乗ろうかな」とか、「買っちゃおうかな」という声も聞かれました。

最後に農作業事故の発生状況について支援センターから情報提供し、農作業安全・事故防止について呼びかけました。今後、女性が農業機械で作業する場が増えると思いますが、事故防止の大切さを学びました。



2班に分かれて講義を聞き、乗用
草刈り機を試運転



SSには、皆さんの関心が高い